

# ちかい



◆ 総本山誓願寺所蔵「花鳥図（部分）」伝呂紀筆 ◆

## ◆ 目次 ◆

- 慈光 〈第21回〉
- 賢問子行状記 ⑤
- お釈迦さまのご生涯 8
- インド バタバタ 夫婦道中記 29

- 総本山誓願寺だより  
誓願寺新京極文化セミナー開催  
表紙の解説
- 何でも“お寺探偵団”Vol.33  
林光山 厥離院 欣淨寺

# 慈光 21

「慈光」。万物を育成し世に恵みを与える光。大慈悲の光明。阿弥陀さまの分け隔てのない暖かい優しい光。私たちはこの光を頂き、生きさせていただいております。慈光に照らされた私たちの生活を今一度考えてはどうでしょうか? タイトルの『慈光』は、鈴木悟道先生のお寺本宿町『慈光院』より拝しました。

## 【自分の顔と心】

その時の私の顔は?

自分の醜い顔。それは怒っている時、不快な時、嫌な時、心の重い時。それ

を知り、同時に孫の成長にも感謝しました。

私たちには、自分の顔を自

ぞれの心の想いが顔に表れるが、自分の顔は見えない。しかし、相手には判るもの

ら見ることが出来ず、鏡の力を借りてはじめて見るこ

とが出来るものです。

それでは、私たちの心は

先日、人を頼んで法要の支度をしていました時、暑いことと気忙しいの双方で胸が

どうでしょうか?

醜い欲、怒り、妬み、慢

心、僻み。随分と穢れた心

の毎日です。

突然、飼い犬が吠え始めました。余りのことには思わず

その醜い心を、そつと教

した。余りのことに思わず

していると、いつの間にか

「うるさい!」

その醜い心を、そつと教

と怒鳴ってしまったのです。

していると、いつの間にか

すると、孫が一言、

その醜い心を、そつと教

「お爺ちゃん、犬にあたら

くの毎日です。

一たび往生を得れば

ないで下さい」

孫の言葉で自分の醜い顔

を知り、同時に孫の成長にも感謝しました。

善に、醜が美に変わつてき

ます。

私たちの顔と心は阿弥陀さまのお働きによつて、悪が

善に、醜が美に変わつてき

ます。

と御先徳は仰せられました。

私たちの顔と心は阿弥陀さまのお働きによつて、悪が

# 賢問子行状記 小島英裕 5

第三話

## 賢問子、本国に帰る

けんもんし

賢問子は、妻の柳営女に向かい「けつして疑つてくれるな。これに乗つて帰ることにした」と約一メートル程の大鳥を出しました。これまでも本当の話と信じていなかつた柳営女は驚き、「それならば私の話も聞いてください。あなたは日本の生まれ、私は唐の生まれ。さらに私のお腹の中には五ヶ月の子どもがいます。無事に子どもが産まれたとしても、夫婦離ればなれはどうすればいいのでしょうか。身ごもつた私の体を可哀そうと思つて、もう少しの間ここにいてくださいませんか」と泣いて訴えました。

賢問子も胸に迫るものがありました  
が、「けれども一年の間に必ず帰ると

母と約束を交わしたのに、もう二年経つてしまつた。一度日本に帰つて、この国に戻つてくる。お腹の子どもが、もし男の子ならば大切に育て、私のようになつて欲しい。この鑿は奇しくも春日明神さまよりいた家宝である。これをおまえに預ける。唐で仏師の名を上げ、賢問子の子であることを伝えてくれ」と妻に別れを告げました。



大鳥を操り海を渡る賢問子  
(誓願寺所蔵『誓願寺縁起絵 第1幅』)

嘆きの声が母の耳に入りました。「あなたを待つていましたよ。あなたに会わずに死んでしまえば、死にきれません。でもあなたの顔を見て命が終わるのですから、これで何も思い残す事もありません。あなたが新たに造った仏さまが私を迎えてくださることでしょう」。母は合掌のまま、念佛を称えながら亡くなりました。(つづく)

賢問子は鳥の腹の中に入り、両手で羽を握り、屋根の棟に飛び上りました。柳営女は最後にもう一度夫の姿を見た。こんな不思議なことはありません。「さらば、さらば」と声がしたかと思うと賢問子は東の空へ飛んで行きました。妻は大声を上げて泣き叫び、大地に倒れました。

賢問子は昼夜に飛び続けました。日本上空にさしかかった頃、右の羽を落としてしまいました。それからここを「羽片(博多)」と言うようになりました。羽片からは歩いて奈良の古郷に帰ると、母親は、長い間病気にかかり寝つきりでした。すぐに母の枕元に寄り「このような姿に。母の病は、全て私の親不孝から起こつたもの。許してください」。

賢問子は鳥の腹の中に入り、両手で羽を握り、屋根の棟に飛び上りました。柳営女は最後にもう一度夫の姿を見た。こんな不思議なことはありません。「さらば、さらば」と声がしたかと思うと賢問子は東の空へ飛んで行きました。妻は大声を上げて泣き叫び、大地に倒れました。



「覚りを開かれるお釈迦さま」



## 成道



マーラの誘惑に打ち勝つたゴータマ（お釈迦さま）は、静かにアシュバッタの樹の下で瞑想を続けました。

「人はなぜ苦しむのか？人にはなぜ苦しみがあるのか？」

そのことを考え続けたのです。ふとゴータマの心に思いが生じました。

「これがある時、かれがある。これが滅すれば、かれが滅する…そういうか、全ての物事には必ず原因があるのだ。人の苦しみにも必ず原因がある。それを消滅すれば苦しみがなくなるではないか」

さらに細かく考えました。

「無明によつて行があり、行に

よつて識があり…、巡りめぐつて憂い、悲しみ、苦しみ、歎き、悩みが生じる。このようにして苦しみが起るのだ」と縁起の理法を考えたのです。

「無明が消滅すれば行が消滅し、行が消滅すれば識が消滅し…、やがて憂い、悲しみ、苦しみ、歎き、悩みが消滅する。このようにして苦しみがなくなるのだ」

苦しみから解放されたゴータマは、仏陀（仏さま、目覚めた人）となつたのです。十二月八日、明け

の明星、「お釈迦さま」という仏さまがこの世に誕生した瞬間でした。

お釈迦さまが覚つたことにより、アシュバッタの樹は後に「菩提樹」と呼ばれるようになりました。また全国各地のお寺で「成道会」を開き、この日をお祝いしています。

(注) 無明：無知 行：生存活動  
識：対象に向かつて動く心



# インドドタバタ夫婦道中記 ②⁹

東龍寺 住職 岩瀬 賢良

## 騙されたのでは ないけど…

アウランガーバードのホテルで宿泊手続きのため受付カウンターにいると、日本人の若い男女二人が入ってきて、僕たちに挨拶をした。後で一緒に夕食を食べに行こうと約束をし、それぞれの部屋に入つた。僕たちは一日の汗と土ぼこりを湯の出るシャワーで流し、ついでに洗濯をして身支度をして再びロビーに集合した。

大衆食堂が見当たらず、ちょっと高級そうなレストランに入り、まずビールが飲みたい僕ともう一人の男性の希望を、ウェイターに伝えると、他の客から見えにくいテーブルに案内された。この町はそこそこ大きな町なのに、以前と変わらずいまだにアルコールは市民権を得ていないと感じた。ビール四本と、適当に何種類か食べ物を頼み大いに情報交換をする事ができた。男性は三十代半ばのカメラマンで、たしかに知っているの

で、カレーが苦手なのに印度に来て、ビールとスナック菓子の毎日だそうだ。女性は二十代半ばで長期休暇中、同じ愛知県の出身だと自己紹介された。今後の二人の行き先は考え中とのことだった。

翌二月二十四日、必要な物だけをリユックに詰めて、朝八時過ぎに前日到着したバス・スタンドに向かつた。エローラ行きのバスレーンを探してから、露店でチャイを飲んだり、売店でミネラル・ウォーターを買つたりして、バスを待つていた。なかなか来ないのでバス・スタンドの関係者らしき人に聞くと、専用の窓口に行くように言われた。

僕は利子をベンチに待たせ窓口に行くと、パスポートを出すよう言われ、紙を渡されて記入させられた。挙げ句の果てに二人分のチケット一二〇ルピー（約三〇〇円）とガイド料三〇ルピー（約七五円）を払わせられてしまつたのだ。エローラまでの距離なんて、たしかに知っているの

に、変だなあ、と思いつつベンチに戻つたのである。

積然としないままベンチで腰掛けていたら、それらしいバスが到着し、チケットを見せてると座る席を指示され、ほぼ満席になつたところで、乗務員らしき男がヒンディー語と英語で乗客に話し始めた。

客の顔ぶれを見回すと、とても国際的で、やつと理解できた。このバスは一日遊覧の観光バスだったのだ。まあ、エローラだけでなくいくつかの観光スポットを回つて、おまけにガイド付きならば、それもいいか、と僕は自分自身に言い聞かせることにした。



エローラ石窟寺院群 第16窟  
カイラーサナータ寺院（ヒンドゥー教）

# 総本山誓願寺だより

## 「名僧で学ぶ日本の仏教 ～生き方・死に方に見る～」

## 誓願寺新京極文化セミナー開催

外来文化として日本に伝わり、やがて独自の展開を遂げた日本の仏教。

僧侶たちは釈迦の教えを実践し、仏法を説いて、日本人の思想に大きな影響を及ぼしました。この講座は、とくに鑑真や最澄、空海など、名僧たちの生き方に学ぶ日本仏教の講座です。彼らの生き方と死に方、また死についての智恵を参考しながら、現代人にとっての仏教を再考してみましょう。

講師 加藤 義諦先生

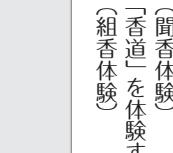


第1回	10月15日（月）	「鑑真和尚」
第2回	11月12日（月）	「聖徳太子」
第3回	12月10日（月）	「最澄」
第4回	1月7日（月）	「空海」
第5回	2月11日（月・祝）	「法然」
第6回	3月11日（月）	「証空」

☆場所：誓願寺会館1階  
☆全行程とも午後6時30分～午後8時  
(受付は午後6時～・当日受付可)  
受講料1回500円（資料代含む）

◇プロフィール  
浄土宗西山深草派宗学院教授 京都西山短期大学教授・専攻主任  
篠山市文化財保護審議委員会委員（仏教美術担当）

講師 太田 清史先生



第1回	7月19日（木）	「お香」の原料を知る
第2回	8月23日（木）	「におい袋」を作る
第3回	9月13日（木）	「練香」を作る
第4回	10月4日（木）	「香木」を鑑賞する (聞香体験)
第5回	11月1日（木）	「香道」を体験する (組香体験)

☆場所：誓願寺会館1階  
☆全行程とも午後6時～午後7時30分  
(受付は午後5時30分～・当日受付可)  
受講料1回500円（資料代含む）  
(\*第2回と第3回は受講料とは別に、材料費1,000円を徴収します。)

◇プロフィール  
大谷中・高等学校長／志野流香道松陰会理事／(財)お香の会評議員  
協賛・松榮堂

## お香を楽しむ

和のかおりである「お香」の楽しみ方を、5回シリーズでお届けします。最終回には、日本の伝統文化である「香道」の体験もしていただきます。

普段とは異なる「お香」による安らぎのひと時をお楽しみください。



## おもな行事予定



- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| 八月                       | ●十五日(水)<br>六阿弥陀功德日            |
| ●十六日(木)<br>精靈送り・盆施餓鬼     |                               |
| ●二十一日(火)<br>少年少女参拝団      |                               |
| ●十八日(火)<br>開山歴代忌・六阿弥陀功德日 |                               |
| ●十九日(水)～二十五日(火)<br>秋彼岸   |                               |
| 九月                       | ●六日(土)～十四日(日)<br>秋の寺宝展 第二回企画展 |
| ●七日(日)<br>策伝忌            |                               |
| ●八日(月・祝)<br>六阿弥陀功德日      |                               |
| ●十日(水)<br>念珠供養会          |                               |
| 十月                       | ●十一月<br>●二十日(火)<br>総本山西山忌     |
| ●二十四日(土)<br>六阿弥陀功德日      |                               |
| 十二月                      | ●二十四日(月・祝)<br>六阿弥陀功德日         |
| ●三十一日(月)<br>お身拭式・六阿弥陀功德日 |                               |
|                          | ●除夜の鐘                         |

## ◇秋の寺宝展特別一般公開◇

**第3回企画展「誓願寺の阿弥陀信仰」**  
 10月6日(土)～10月14日(日)  
 拝観時間／午前10時～午後4時  
 場 所／誓願寺会館2階  
 拝 観 料／大人300円 中高校生200円

## ◇表紙の解説◇

呂紀について



中国、明代弘治年間（1488～1505年）の宮廷画家。生没年不詳。浙江省の人で、字は廷振、号は漁漁。花鳥画を明代初期の重要な宮廷画家だった辺文進に学んだ。唐宋の名画を模して技をみがき、山水の中に花鳥をおいた装飾的画風を大成。時代の林良の写意的な水墨花鳥画に対し、装飾的な着色花鳥画に本領を發揮し写生派といわれた。宮廷に仕えた呂紀は、皇帝の命を受けて絵を描いていた。宮中で大量に必要とされた絵画の製作のため、おそらくは作画工房を設けて、助手に手伝わせながら皇帝の求めに応じたと思われる。

といわれた。宮廷に仕えた呂紀は、皇帝の命を受けて絵を描いていた。宮

中で大量に必要とされた絵画の製作のため、おそらくは作画工房を設けて、

助手に手伝わせながら皇帝の求めに応じたと思われる。

## 【問題】

賢問子が木の大鳥の羽を落とした場所はどうで

しょう。地名をひらがな三文字でお答え下さい。

○ ○ ○

官製はがきに、答えと郵便番号、住所、氏名、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いて送ってください。その中より紙面に採用させて頂くことがあります。掲載時には、ハガキにてご本人にて連絡致します。名前の掲載の困る方は、その時に返事下さい。

今回は、欣浄寺さまより本堂落慶記念の日課数珠に記念散華をお付けして10名の方、本山謹製線香を5名の方に、合計15名の方に抽選にて差し上げます。ご応募お待ちしております。

## クイズコーナー

【宛先】〒四四四一三五二三

岡崎市藤川町字中町南十五

稱名寺内 ちかい編集係

答え  
○○○○○  
郵便番号  
住所  
氏名  
菩提寺(だんな寺)  
感想・質問等

【締切】九月三十日  
(消印有効)

ちかい 第135号

発行日 平成二十四年七月五日  
発行所 浄土宗西山深草派  
総本山誓願寺

京都府中京区新京極桜之町四五三番地  
電話(075)二三二一〇九五八  
FAX(075)二三二一〇九一九  
E-mail info@fukakusa.or.jp  
URL http://www.fukakusa.or.jp/

何でも

# おき探偵団

欣淨寺

Vol.33



profile

祖父江義信師

(欣淨寺 第37世)  
昭和24年生まれ  
(63歳)

大學3年の時に先代が遷化し、昭和47年から住職。県立高校教員を38年間務め、平成22年3月退職。趣味は切手収集。

今回は愛知県岡崎市本宿町林光山厭離院 欣淨寺を訪ねました。

お寺の由来を教えてください。

Q1

天正7年（1579）法藏寺  
第8代融翁洞文上人が、洞元山の麓に開山しましたが、東海道から離れていて参詣に不便であつたので、享保7年（1722

2)に現在地に移転しました。明治5年、本宿小学校の前身である將明学校が設置されました。前本堂の老朽化により、本年3月新本堂と位牌堂・書院の落慶法要を厳修しました。

たといわれる千手千眼觀世音菩薩があります。

Q3

「ちかい」の読者に  
一言お願いします。

寺子屋や学校、そして本宿村公民館分館、岡崎市欣淨寺なども広場を兼ねていたこともあります。地域の皆さんがあつさん集まりました。今まで同様、普段着で気軽に集え、お話しできる場所でありたいと思います。

Q4

「座右の銘」は  
何ですか？

司馬遷の『史記』にある「桃李不言下自成蹊」

れども「下白ずから蹊を成す」です。モモやスモモは何も言わなくとも、人々は花実に惹かれて近くへ行くので、その下に自然に小道ができる、ということです。

仏舍利は法然上人から源智上人へ、円秀上人から第29世禪空祥善上人へ渡されたものと記されています。また、記念事業として、本尊背面に在京の仏繪師藤野正觀氏によつて絹本着色で極彩色が施された「糺迦三尊図」が描かれました。また、当寺開山前の建立で村中を守護してい

Q5

「ちかい」の読者に  
何かいただけませんか？

本堂落慶記念の日課数珠に記念散華をお付けして10名の方に差し上げます。

## 【交通】

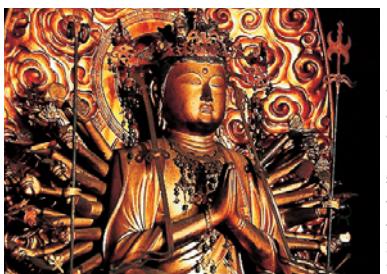
名鉄本線「本宿駅」下車 南へ徒歩5分

## 【主な行事】

春彼岸会	3月彼岸中日
涅槃会	旧2月15日
降誕会	旧4月 8日
盆施餓鬼	7月25日
秋彼岸会	9月彼岸中日
弘法大師供養会	旧3月21日
総供養	12月第1日曜日

## 【お問い合わせ】

欣淨寺 〒444-3505  
愛知県岡崎市本宿町字東木竹16番地  
TEL 0564-48-2909



◀ 千手千眼觀世音菩薩

◀ 新築された本堂